

認定農業者だより

Next Step

玖珠九重版 令和6年 2月
 大分県西部振興局 生産流通部
 T e l : 0973-23-2217
 F a x : 0973-23-3473
 E-mail : a11610@pref.oita.lg.jp
 記事へのご意見等をお寄せください

【水稲】R5年産の作柄は「99」で平年並！

令和5年産の水稲は、農林水産省発表の作況指数（12月12日公表）で99（日田地区）と3年連続で平年並でした。これは、分けつ期の日照不足で穂数が少なく全もみ数が少なくなり、9月以降の天気に恵まれ登熟が良となったためです。今回は令和5年産水稲作の概況と米をめぐる状況と国の方向性についてご紹介します。

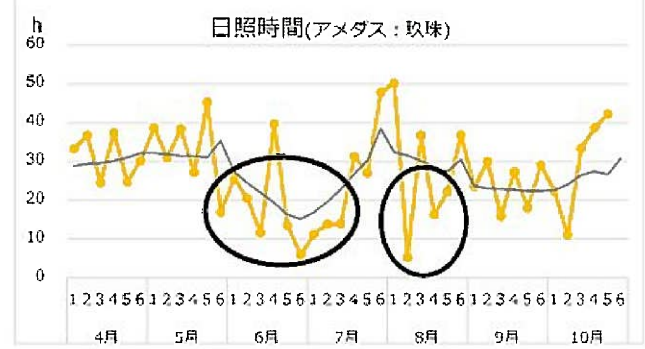
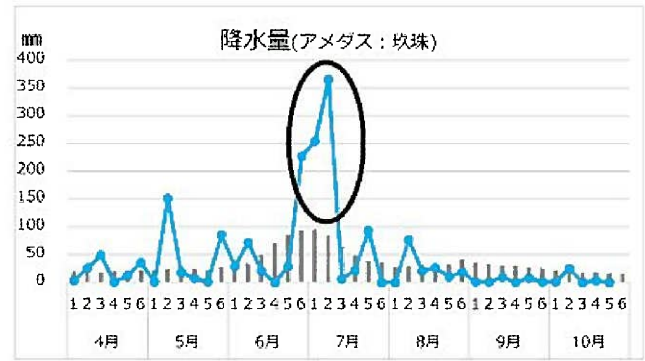
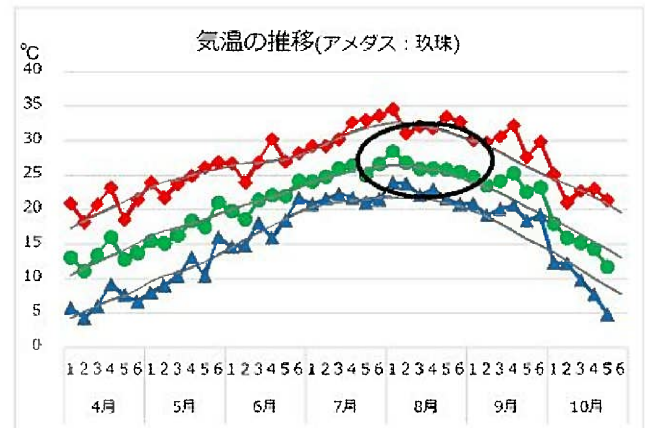
（1）R5年の気象概況と水稲作への影響

令和5年の気象概況は、気温は生育期間全体（6～9月）を通して概ね平年並～高く推移しました。7月末～8月の出穂期の平均気温は26℃近い高温となり、等級を下げる白未熟粒の発生の要因となりました。

降水量は6月6半旬から7月2半旬にかけて平年比3倍近くの大雨が降り、一部で圃場の崩落、越水、水路や畦畔の崩壊等の被害が発生しました。

日照時間は田植後から出穂までの期間の多くが平年以下となり、6月以降に移植された水稲は特に分けつが抑制され、収量の確保が難しい状況でした。また8月2半旬と4、5半旬で平年以下となり、出穂直後の稲では白未熟粒の発生の要因となった可能性があります。

病害虫については、斑点米カメムシ類といもち病で注意報が、トビイロウンカとコブノメイガで技術情報がそれぞれ発令されました。管内でも一部で被害が発生し、等級の低下や減収の被害が発生しました。白未熟対策は、高温耐性品種の導入や早期落水を避け土壌を湿潤に保つ、カメムシ対策は、穂揃い期と散布7～10日後の2回防除の実施など、特に被害が大きかった場合は対策をしましょう。



（2）最近の米をめぐる状況と国の方向性について

主食用米の需要量は、近年1年間で10万トン程度減少しています。10万トンは、大分県の主食用米の1年間の収穫量に相当します。また、60kg当たり米価は過去20年で20,000円から13,000円程度と大きく下落しており、国は、麦・大豆や新規需要米（WCS、飼料用、米粉用、輸出等）、畑地化（園芸品目）へ作付転換を図るほか、直播や密苗、スマート農業の推進で栽培コストの低減に向けた取組を推進しています。ご自身の経営と中山間地域の農地を守り続けていくために、地域計画を活用し農地の集積・集約化や、経営の維持・強化にどう取り組んでいくか検討しましょう。

（集落営農・水田畑地化班 橋本）

【ご紹介】土着天敵タバコカスミカメを利用した 夏秋ピーマンの防除について

1 タバコカスミカメについて

大分県内にも生息する雑食性のカメムシの仲間、アザミウマやコナジラミの天敵として知られています。



タバコカスミカメ



アザミウマ



コナジラミ

2 タバコカスミカメの集め方と圃場への放飼方法



クレオメを屋外で育てると
タバコカスミカメが集まる



8月中旬以降
花穂のみを収穫



コンテナ等に入れ
ピーマンの株元に設置



ピーマンの花や新芽を
パトロールし捕食する

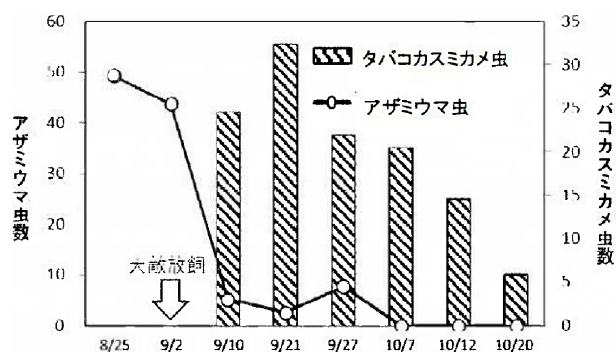
3 大分県農業研究部病害虫対策チームの研究結果

●アザミウマの防除効果

タバコカスミカメを上記の手法で放飼したところ、翌週からアザミウマ類の密度が下がりました。

●利用のポイント

8月中旬以降にクレオメを刈り取り圃場内に設置することが安定的な天敵の定着を促します。



4 その他

- 市販されているタバコカスミカメ製剤は登録がないためピーマンでは使用できません。
※きゅうり（施設栽培）・トマト（施設栽培）・ミニトマト（施設栽培）には登録があります。
- 土着カスミカメを利用する際は使用者自身で集めなければなりません。（人からもらえない）
- タバコカスミカメを殺してしまう農薬があります。土着カスミカメの利用の際は振興局にお問い合わせをお願いします。

（園芸第二班 河原）

《紹介》サンゴミズキの栽培状況を視察しました

令和5年12月15日に豊肥地域へサンゴミズキの栽培状況を視察しましたので、視察結果をダイジェストでご紹介します。サンゴミズキは冬期に露地で栽培可能で低コスト品目として期待されており、現在試験的に栽培されています。
興味のある方は下記担当までご連絡ください！

サンゴミズキとは？

冬に鮮やかな赤い枝を楽しむことができる低木です。生け花やフラワーアレンジメントに用いられています。

○原産地：シベリア、中国東北部、朝鮮北部、樺太

○主要産地：石川県

○特性・性状：落葉・低木、耐寒性が非常に強い（ -15°C ）

○適地：中間地～寒冷地（1月の平均気温が 4°C 以下）、やや乾燥するところ

～視察結果～

*各地4月下旬に定植していたが、標高の高い地域ほど枝が細く、長さが短い傾向にあるサンゴミズキは基本的に元肥、追肥はほとんど必要ないが、標高の高い地域はまだ気温が低く初期成長が遅れるため、元肥をある程度投入し枝を伸ばす必要がある。

竹田市久住町（標高 500m）

竹田市志土知（標高 400m）

豊後大野市清川町（標高 180m）



枝の長さ
平均 40～70 cm



枝の長さ
平均 90～100 cm



枝の長さ
平均 110～120 cm

* 雑草対策にマルチは必要

特に標高の高い地域は地温確保のためにも必要と思われる。

* 活着には排水対策は必須

排水が良い土地でも畝の高さは 20 cm くらいあった方がいい。

* 色づきに必要な要素は光と気温の低下

窒素成分が切れていることも必要と思われる。

約 15°C くらいから色づきはじめ、 10°C を切ったら赤くなる。

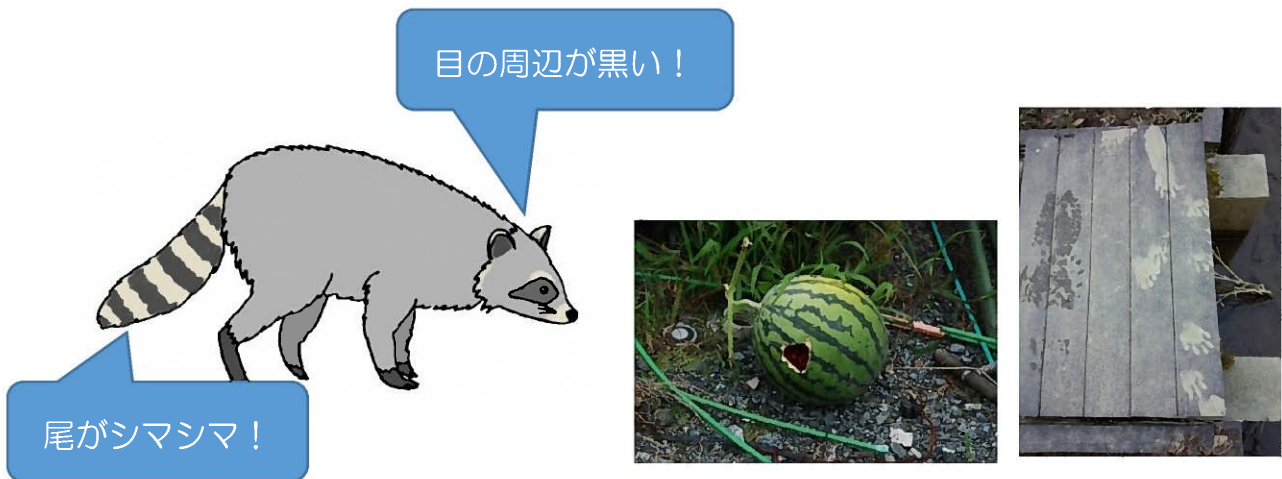
今回の視察は大変有意義なものとなりました。
今後も他産地の情報収集に努め、栽培方法の確立を図っていきます。

（園芸第二班 志賀）

アライグマ等の被害防止対策について

近年、日田・玖珠地区では外来生物であるアライグマの生息数が激増しており、農作物被害が急増しています。アライグマは雑食で、農産物等を好んで食べます。

この状況に対し、農林業者の方（家庭菜園は除きます）がアライグマ等被害防止のために、**電気柵等**を設置する場合（**既設の防護柵をアライグマ等対策用に改良することも可能**）、**下記のとおり**により、設置費用（**資材費のみ**）を補助する制度を創設していますので、**在住市町の鳥獣被害対策担当課**または**大分県西部振興局森林管理班**にご相談ください。補助率は**事業費の3分の2**で、事業費が下記標準経費を超える場合は、標準経費が上限となります。



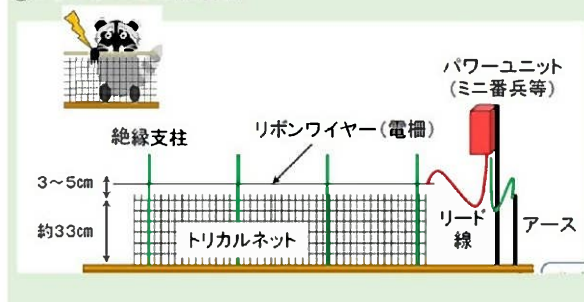
① 新設

複合柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：550 円/m

①アライグマ等の防護柵



② 既設の防護柵（ワイヤーメッシュ等）の機能強化

(1) 電気柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：313 円/m

(2) ネット柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：127 円/m

②通常の防護柵を改良

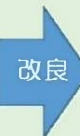


WM(ワイヤーメッシュ:溶接金網)

アライグマ等対策(イメージ)



電気柵(柵上部)+ネット(柵の内側)



(森林管理班 丸山)

水田への園芸品目導入の際は硬盤層にご注意を!!

作物が土壌中の養水分を十分に吸収し、成長するためには、根が深く伸びることが大切です。硬盤層があり、排水不良や根の発達を妨げている場合には、深耕により硬盤を破壊し、作土を広げることが必要です。

1. 硬盤層の形成について

水田は湛水するため、硬盤層が不可欠ですが、畑地ではこの硬盤層は野菜の根の伸長を著しく阻害し、透水性を低下させるため、湿害等の原因となります。ほ場では繰り返しの大型機械走行での土壌踏圧により、作土の下には硬盤層が形成されてきます。

硬盤層は多くの畑で見られますが、特にその硬さが問題となります。野菜の場合、山中式硬度計で20以上（※親指で断面を押しした際、指が入らずへこむ程度）の硬さとなると、根張りが悪くなり、野菜の根がまっすぐ伸びることが出来なくなります。

2. 土壌断面調査による硬盤層の位置確認

土壌の物理性（土性、硬度など）については、表層を見ているだけでは把握が出来ないので、実際に掘削し、土壌断面を作って判断する必要があります。

【方法】

- ①縦横 60cm、深さ 30～40cm の穴を掘る。穴ができたなら、観察面を移植ごてで丁寧に削る。
- ②土色、水位、礫の状態などを確認して、土壌がどこで分かっているかを判定する。
- ③土壌断面の上層から順に、硬さを判断する。



山中式硬度計	指の入り方	根の張り方	その他
<15	指が入る	問題なし	一般的な作土
15～20	かなり抵抗があるが、第一関節くらいまで入る	張りにくなる	
20～25	入らないがへこむ程度	根張りが悪くなる	一般的な硬盤層
25<	ほとんどへこまない	根は張らない	要対策

3. 対策

①硬盤層が硬い場合

【対策例】サブソイラによる硬盤破碎、深耕ロータリーによる作土層拡大、天地返し

②地下水位が高い場合

【対策例】排水路の整備（明渠）、高畝栽培、暗渠



サブソイラによる硬盤破碎



天地返し（ヤンマーHPより）



排水路の整備(クボタ HPより)

土壌断面調査は振興局でも実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。
（営農推進班 後藤）

農作業安全に取り組むヒント

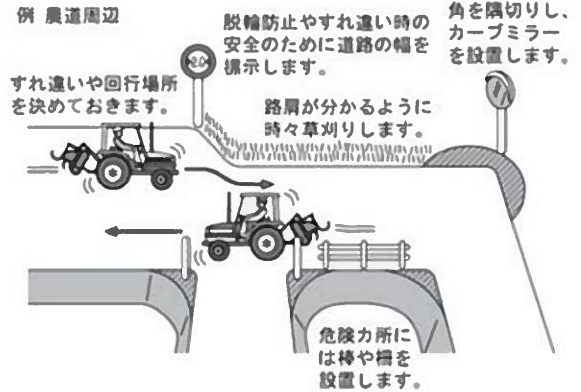
安全な農作業に取り組むためのヒントを紹介します。ここに掲載できなかった大切な項目もあるので、農林水産省のHPを参照するなどして安全確保につなげてください。

乗用型トラクター

- 安全キャブ・フレームのついたトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットを着用するようにしましょう

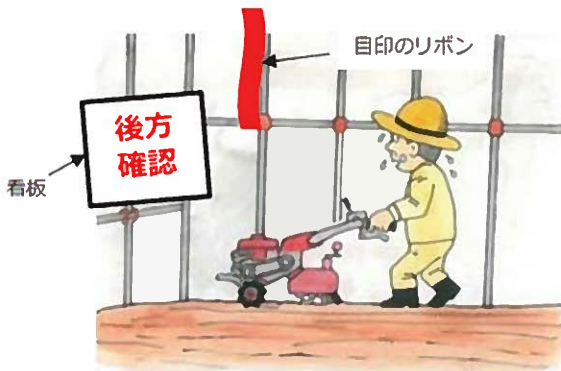


- 安全に通行できるよう、環境を整備しておきましょう



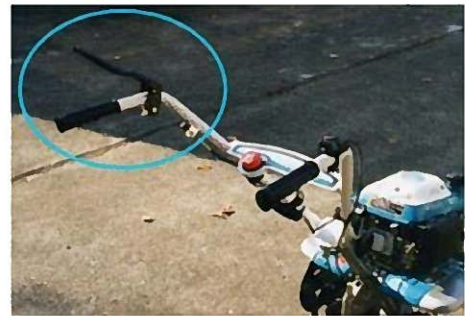
歩行型トラクター

- 後退時は必ず後方確認するようにしましょう



後退する場所に目印や看板を設置しましょう

- 安全装置のついた機械を選ぶようにしましょう



例：デッドマン式クラッチ

クラッチレバーを握っている間は動力が伝達され、手を離すとクラッチレバーが自動的に戻って動力が切れる構造のクラッチ

刈払機

- 事前に環境を点検・整備しておきましょう



飛散防止のため、作業現場の異物を取り除いておきましょう

転倒を防止するため、足場をつくりましょう

- 安全な服装で作業を行うようにしましょう



農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室
03-3502-8111 (内線:4773)

Click!

農林水産省 農作業安全

検索

